

大東京信用組合 2016年度上半期 ディスクロージャー誌

大信

上半期ディスクロージャー 情報編2016

2016年4月1日から2016年9月30日まで



地域の発展
お客さまの繁栄のために

心・ふれあい
大東京信用組合
<http://www.daisin.co.jp/>

ベストパートナー。

大信は、「フットワーク」を発揮し、お客さま・地域社会との「心・ふれあい(ハート・トゥ・ハート)」の信頼関係を大切にします。それは、地域の皆さまに信頼され、愛される存在「ベストパートナー・バンク(身近で頼りになる大信)」を目指しているからです。



ごあいさつ

皆さまには平素より大東京信用組合に格別なご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。本年も、平成28年度9月期の業務内容を取りまとめました「2016年度上半期ディスクロージャー誌」を作成いたしました。本誌をご高覧賜り、当組合に対するご理解をさらに深めていただければ幸甚に存じます。

内閣府による9月の経済月例報告では、「景気はこのところ弱さも見られるが、緩やかな回復基調が続いている」としています。

一方、金融環境は9月に金融庁から「金融レポート」が公表され、質の高い金融仲介機能の発揮と金融システムの健全性並びに市場の公正性・透明性が強く求められることになりました。

このような状況下、当組合の業績は預金・貸出金とも着実な業容の拡大を図ることができ、収益面でも事業計画を上回る実績を確保することができました。

また、健全性を示します不良債権比率は引き続き低い水準で推移し、自己資本比率は高い水準を堅持しております。

これも偏にお取引先の皆さまのご協力のお陰と改めて感謝申し上げます次第です。

今年度は6月に発足した新経営体制のもと、新たな3ヵ年計画「新・第1次中期経営計画(Yプラン)」をスタートさせました。この計画は、持続可能なビジネスモデルを目指して、経営基盤の強化と人材の育成を図っていくものであります。具体的には、お客さまから地元の金融機関として最も信頼されるベストパートナーとしての信用組合を目指し役職員が一体となって行動することです。

これからも協同組織金融機関としての信用・信頼を高め、満足してご利用いただける態勢の整備を図りながら、お客さまの幅広いニーズにお応えできますよう、努力を続けてまいります。

どうか一層のご指導、ご理解を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

平成28年11月
理事長 柳沢 祥二

組合概要

所在地	東京都港区東新橋2-6-10	店舗数	45店舗(うち出張所3)
創立	1952年(昭和27年)9月6日	職員数	666名
出資金	14,755百万円	自己資本比率	9.03%
組合員数	102,431名	営業地区	東京都一円(離島を除く)
総資産	610,413百万円	事業内容	預金・融資・内国為替・外国為替(取次)・代理業務・国庫金収納・その他
預金積金残高	576,010百万円		
貸出金残高	295,201百万円		

(計数は平成28年9月末現在)

バンクをめざす大信



経営理念

大東京信用組合は、
地域に密着し
地域社会に奉仕する。



お客さま
(組合員の皆さま)

相互扶助の
精神

大信

職員



CONTENTS

- | | | | |
|-----|-----------------|-----|----------------|
| P 1 | ごあいさつ | P 9 | 地域経済活性化への取組み |
| P 3 | 新・第1次中期経営計画について | P11 | 社会貢献への取組み |
| P 5 | 平成28年9月期業績概況 | P13 | お客さま満足度向上への取組み |
| P 7 | 平成28年9月期仮決算状況 | P14 | 店舗網、店舗一覧 |



「新・第1次中期経営計画」

(組合内名称:Yプラン)

～ベストパートナー・バンクになるための3カ年計画～

中期経営計画の策定にあたっての“理事長メッセージ”

私たちのお取引先である中小企業・小規模事業者は依然として売上不振や収益の減少など厳しい経営を余儀なくされております。そうした中、金融機関と共に事業を発展・改善、そして新たに起業させたいと願う事業者は少なくなく、今こそ協同組織金融機関である大信(信用組合)の出番であり、その特性を発揮し、新たな相互扶助を実践していく事により各地域での存在意義を増していく必要があります。

私たちの仕事は、お客さまとその地域があって初めて成り立つ事は言うまでもありません。従って今後やるべき具体的な事は下記の4点であり、こうした動きがこれからますます重要となります。

1. 中長期的な視点から多少のリスクを伴っても将来に亘って大信ファンになっていただけるお客さまに数多くお取引いただくこと。
2. リスクを許容できる強固な財務体質を築くこと。
3. 役職員自身が、日々大信ファンになっていただけるお客さまに気付きをもたらす行動をしていくこと。

4. お客さまからのご負託にお応えできるよう、組合員と組合員、または全国の信組同士や地域社会と大信のネットワークを作ること。

また、このような環境だからこそ、時代の要請・求められる役割に応えるべく、組織づくり、人間づくりを徹底していく必要があります。そのためには、役職員がベクトルを同じくし、一人ひとりがしっかり問題意識を持って物事に取組み、仕事にやりがいを持つことが重要となります。

皆さんの力を結集し、大信丸を、大信とお取引いただいているお客さまとその地域のために、また、大信で働く役職員とその家族のために、まずは3年後の2019年とその先の創立70周年(2022年)へ向け、そして、明るく素晴らしい未来へ向かってみんなで漕いで行こうではありませんか。

計画のメインテーマ

「つなぐ・共有」

2つの



『経営基盤の強化』

健全経営をモットーとして、持続可能なビジネスモデルと収益構造を確立し、将来に自信を持ってつなげる経営基盤を構築します。

- 取引基盤の再構築
- 収益力の強化
- ガバナンスおよびリスク管理態勢の強化
- 健全性の維持



大信は中期経営計画の中で「新たな相互扶助」の実践に取り組めます

信用組合は相互扶助に基づく協同組織金融機関です。その特性と機能を発揮するために、今後大信は時代にあった「新たな相互扶助」を実践していきます。

それは、①お客さま(組合員)と大信

②お客さま(組合員)とお客さま(組合員)

③全国の信用組合等と大信

④地域社会と大信、など様々なネットワーク作りです。

大信の持続可能なビジネスモデルの確立

(身近で頼りになる大信)

将来に向け経営基盤と人材をつなぐ。

お客さまおよび職員と課題を共有する。

職員一人ひとりがやりがいをもって
働ける職場をつくる。

「やりがい」

戦略

人材の育成



大信の売りは、「人であり、心です。」お客さまとの対話、職員との対話を大切にし、お客さまの真に役に立つ活動、地域およびお客さまのニーズに応えられる人材を育成します。

- 人間力の強化
- コンプライアンス
- 顧客志向

具体的には、ビジネスマッチングを通じたお取引先への販路拡大・売上向上や金融サービスの提供・充実、地方の信用組合との連携・協力、関係機関との連携による相互メリットの追求等、信用組合だから出来ることが必ずやあるはず。

「新・第1次
中期経営計画」
(組合内名称: Yプラン)

Yプランとは?

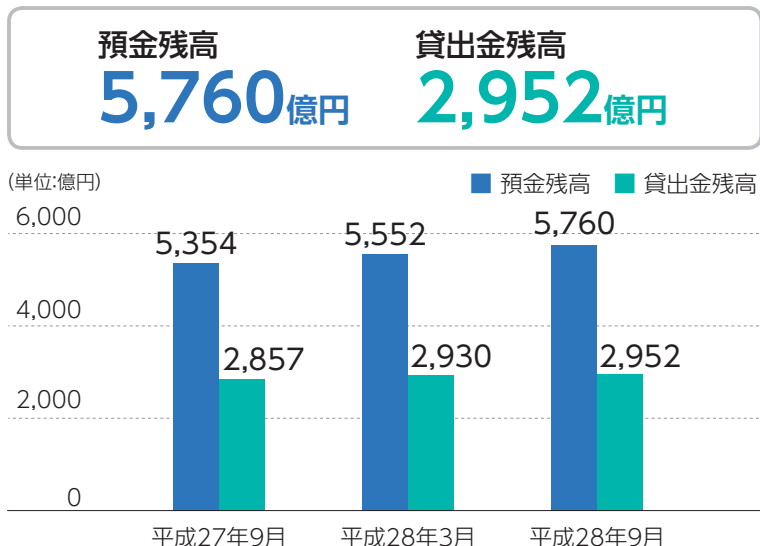
やるべき事を、やりがいと、
勇気をもって、やり遂げる
ための計画です。

実施期間

平成28年4月1日～
平成31年3月31日

① 預金・貸出金の状況

■ 預金残高・貸出金残高の推移



信用のバロメーターとも言うべき預金残高は、多くのお取引先の皆さまからご信頼をいただき、前年同期に対し405億円増加の5,760億円となりました。

また、貸出金残高は、中小企業・小規模事業者等への円滑な資金提供に取組み、前年同期に対し94億円増加の2,952億円となりました。

今後もお取引先からのニーズに対して、安定的な資金供給に努めてまいります。

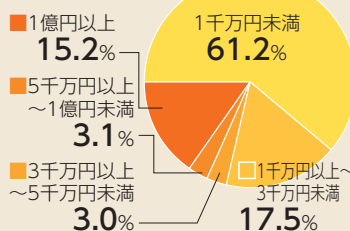


預金は地域に密着した小口多数取引に徹しております。

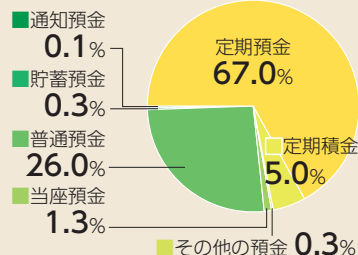
大信の預金残高は、1口1千万円未満の預金が61.2%、安定してお預かりしている定期預金が67.0%を占めております。地元を根をおろした小口多数取引の推進の成果であり、盤石な取引基盤となっております。

今後も「心・ふれあい」を大切に地域に密着した業務を進めてまいります。

■ 預金1口当たり金額段階別残高構成比 (平成28年9月末現在)

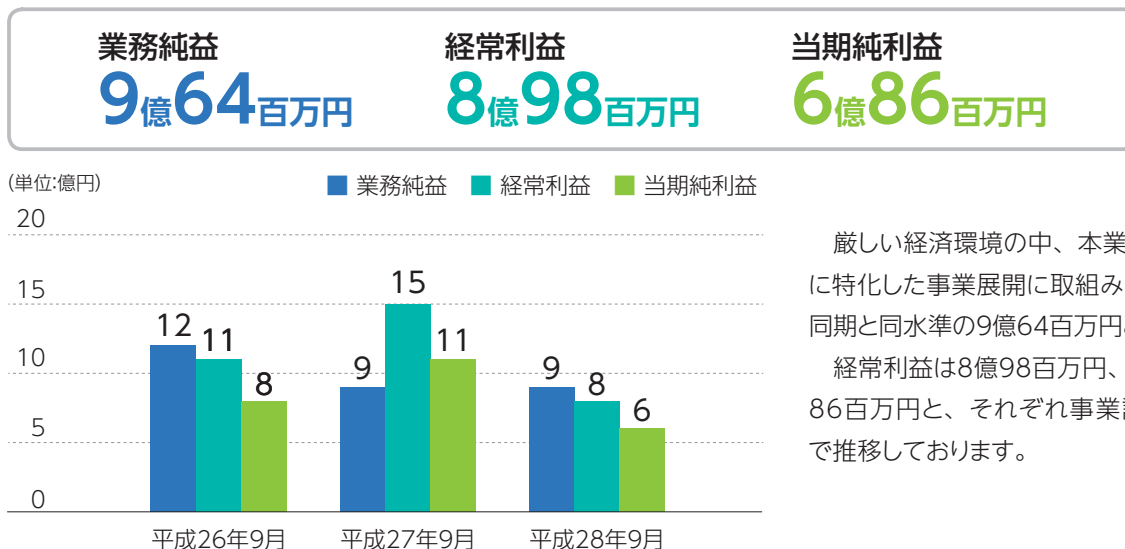


■ 科目別内訳 (平成28年9月末現在)



② 収益の状況

■ 業務純益・経常利益・当期純利益の推移



厳しい経済環境の中、本業である預貸金業務に特化した事業展開に取組み、業務純益は前年同期と同水準の9億64百万円となりました。

経常利益は8億98百万円、当期純利益は6億86百万円と、それぞれ事業計画を上回る水準で推移しております。



自己資本比率の算出

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な経営指標です。信用組合には国内基準が適用され、4%以上であることが求められています。

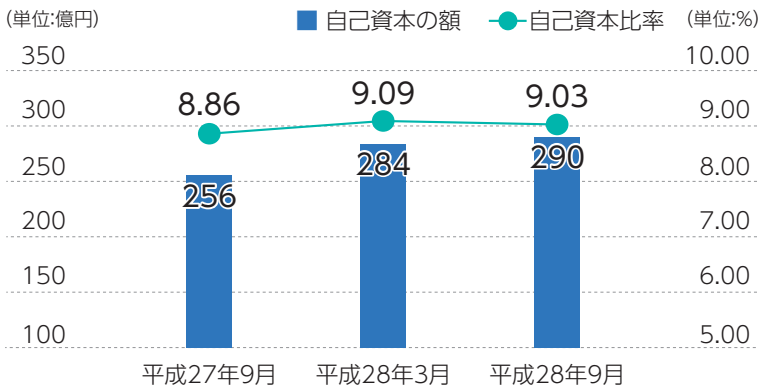
●自己資本比率の求め方

$$\frac{\text{自己資本の額 (290億円)} }{\text{リスク・アセット等 (3,211億円)} } \times 100 = 9.03\%$$

③ 自己資本比率の状況

■自己資本比率と自己資本の額の推移

自己資本比率 **9.03%** 自己資本の額 **290億円**



自己資本比率とは、リスク・アセット（保有する資産にその安全度に応じた掛目を乗じた金額）などに対して、内部留保や出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性を表す代表的な指標です。

日本では、国内のみで営業を行う金融機関に対して国内基準である4%という基準が定められています。

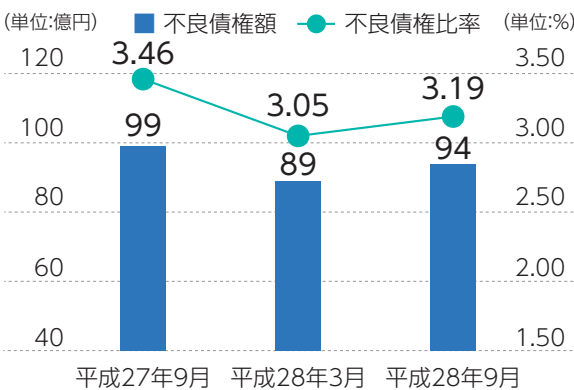
当組合の自己資本比率は、内部留保の増加を主としておりますが、平成28年3月期から自己資本の額は595百万円増加したものの、リスクアセットの増加により、9.03%となりました。

当組合の自己資本比率は、国内基準（4%）を大きく上回っております。

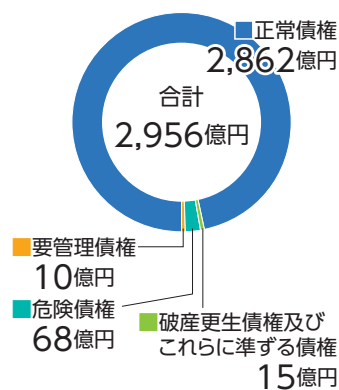
④ 不良債権の状況

■不良債権比率と不良債権額の推移

不良債権比率 **3.19%** 不良債権額 **94億円**



正常債権 **2,862億円**



お取引先に対する円滑な資金供給と経営改善・再生支援に積極的に取り組んでおります。

不良債権額は平成28年3月末に対して約4億円増加し、94億円となりました。

不良債権比率は3.19%となり、平成28年3月末に対し0.14ポイント増加しましたが、引き続き低水準を維持しております。

用語解説



「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。自己査定区分における破綻先・実質破綻先が該当します。

「危険債権」

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。自己査定区分における破綻懸念先が該当します。

「要管理債権」

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。自己査定区分における要注意先の一部が該当します。

「正常債権」

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。自己査定区分における要注意先の一部と正常先が該当します。

平成28年9月期 仮決算状況

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	平成28年9月	平成27年9月	平成28年3月
	金額	金額	金額
(資産の部)			
現金	5,933	6,483	7,566
預け金	223,330	184,792	203,016
有価証券	70,104	74,825	70,378
貸出金	295,201	285,746	293,090
その他資産	3,492	3,209	3,749
有形固定資産	10,930	9,117	11,032
無形固定資産	1,838	1,863	1,849
繰延税金資産	57	521	154
債務保証見返	334	436	391
貸倒引当金	△ 803	△ 1,017	△ 817
(うち個別貸倒引当金)	(△ 561)	(△ 603)	(△ 356)
その他の引当金	△ 6	—	—
資産の部合計	610,413	565,978	590,412
(負債の部)			
預金積金	576,010	535,425	555,292
借入金	600	800	800
その他負債	1,612	1,634	2,353
賞与引当金	237	229	231
退職給付引当金	698	968	833
役員退職慰労引当金	209	230	248
睡眠預金払戻損失引当金	2	5	2
偶発損失引当金	98	97	109
再評価に係る繰延税金負債	180	143	180
債務保証	334	436	391
負債の部合計	579,986	539,971	560,444
(純資産の部)			
出資金	14,755	14,085	14,630
普通出資金	13,205	12,535	13,080
その他の出資金	1,550	1,550	1,550
資本剰余金	1,050	1,050	1,050
利益剰余金	13,250	10,195	12,956
組合員勘定合計	29,055	25,331	28,637
評価・換算差額等合計	1,371	675	1,330
純資産の部合計	30,426	26,006	29,968
負債及び純資産の部合計	610,413	565,978	590,412

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 部分償却額は、平成28年9月期は683百万円、平成27年9月期は1,091百万円、平成28年3月期は676百万円となっております。

3. 「その他の出資金」1,550百万円は、平成19年12月10日に行った旧東京建設信用組合との合併により承継した優先出資金500百万円を平成20年3月28日に、平成14年3月29日に発行した優先出資金1,050百万円を平成23年10月3日にそれぞれ消却した後に振替えたものであります。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	平成28年9月	平成27年9月	平成28年3月
	金額	金額	金額
経常収益	4,990	5,425	10,570
資金運用収益	4,376	4,224	8,553
貸出金利息	3,664	3,640	7,358
預け金利息	212	235	488
有価証券利息配当金	420	281	640
その他の受入利息	78	65	65
役務取引等収益	255	250	508
その他業務収益	289	288	500
国債等債券売却益	282	283	472
その他の業務収益	6	5	27
その他経常収益	69	661	1,007
株式等売却益	31	338	385
その他の経常収益	38	323	622
経常費用	4,091	3,885	7,911
資金調達費用	248	247	504
預金積金利息	247	247	503
借入金利息その他	0	0	1
役務取引等費用	232	226	451
その他業務費用	0	14	17
経費	3,531	3,346	6,839
その他経常費用	78	49	99
経常利益	898	1,540	2,658
特別利益	59	31	81
特別損失	1	33	95
税引前当期純利益	956	1,539	2,645
法人税、住民税及び事業税	187	316	383
法人税等調整額	82	66	302
法人税等合計	269	382	686
当期純利益	686	1,156	1,958
繰越金（当期首残高）	430	533	957
当期末処分剰余金	1,117	1,690	2,916

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(本資料に掲載されている9月末の計数につきましては、仮決算のため監査法人の法定監査を受けたものではありません。)

地域経済活性化への取り組み



パワー溢れる若手経営者を力強くバックアップ!

「しん研青年部会」 「大信ひまわりの会」

大信では“心・ふれあい”と相互扶助の精神に基づき、信用組合としての役割を發揮するために、若手経営者の会「しん研青年部会」と「大信ひまわりの会」(城南・城北・城西・城東・中央)を組織化しています。

「しん研青年部会」、「大信ひまわりの会」では、複雑化する経営環境に弾力的な対応をしていくため、地域経済のあり方や異業種間の交流会、研修会等を行っています。

平成28年10月6日には、「しん研青年部会」と「大信ひまわりの会」による合同交流会を開催いたしました。

第1部では、特別記念講演会として東北福祉大学・特任教授であります福岡政行氏に「これからの日本!〜若手経営者に期待すること〜」と題しご講演いただきました。

その後、会場を移し交流会を実施いたしました。交流会には福岡政行氏にもご出席いただき、会員同士の異業種交流、大信役員との交流、また福岡政行氏との意見交換も行われ、和やかな中にも有意義な会となりました。この合同交流会は来年度も実施予定です。



「女性・若者・シニア創業サポートローン」 「だいしん成長基盤強化支援ファンド」への取り組み



女性・若者・シニア創業サポートローン

大信は、地域を元気にする事業の創業を支援するため、「女性・若者・シニア創業サポートローン」を取り扱っています。東京都との連携により、新たに、都内地域に根ざした企業を数多く生みだし、地域経済を活性化させることを目的に、事業実績がなく、担保もない女性、若者、シニアを応援いたします。

支援対象の方々に対して、提携している創業アドバイザーがセミナーの開催や個別相談、事業計画書づくりのアドバイス、融資後の経営サポートなどを通じて創業者を支援します。

成長基盤強化に向けた取り組みについて

大信では平成27年6月より、地域の成長基盤強化に向けた取り組みの一環として、成長分野に取り組むお客さまを支援するため「だいしん成長基盤強化支援ファンド」を新設し、取扱いを開始いたしました。

本ファンドは、日本銀行「成長基盤強化を支援するための資金供給制度」を活用し、成長基盤分野への支援による地域経済の発展を目指すことを目的として創設いたしました。

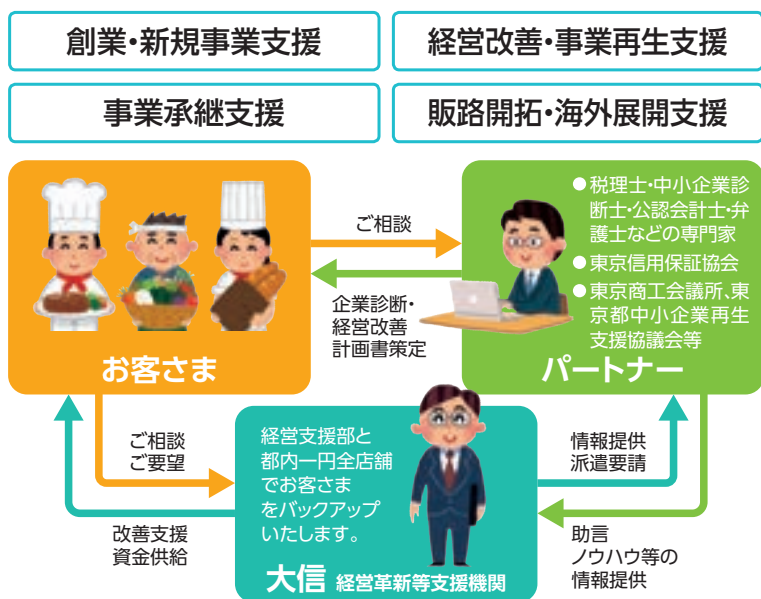
大信では、今後もお客さまの多様化するニーズにお応えするために、引き続き充実した商品提供に努めてまいります。

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況



大信は協同組織金融機関として、リレーションシップバンキングに徹し、地元で健全な事業を営む中小企業・小規模事業者の皆さまに対して、必要な資金を円滑に供給していくこと、ならびに外部機関・外部専門家との連携を強め、より一層のコンサルティング機能を発揮し、経営相談および経営改善に関するきめ細やかな支援に取り組んでおります。

お客さまの抱える問題やご要望にお応えするために、様々な専門家と連携サポートし、バックアップします。



外部機関・外部専門家との連携

外部機関

東京都中小企業再生支援協議会
東京都経営改善支援センター
中小企業支援ネットワーク
独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部
株式会社地域経済活性化支援機構
日本政策金融公庫
東京商工会議所 等

外部専門家・コンサルタント

一般社団法人東京都中小企業診断士協会
TKC東京中央会
應和監査法人
有限会社川野コンサルティング
株式会社エクステンド
株式会社市萬
SMEサポート研究所 等



企業のライフステージに応じた取引先企業への取組み状況

①創業・新規事業支援（平成28年度）

- 融資実績 50件 346百万円
- 東京信用保証協会の保証付創業支援融資 12件 62百万円
- 「しんくみ創業塾」に係る創業者向け融資 6件 48百万円
- 日本政策金融公庫との協調創業支援融資 4件 25百万円
- 東京都「女性・若者・シニア向け」創業融資 28件211百万円

②経営改善・事業再生支援（平成28年度）

- 経営改善支援取組先：104先
- 経営改善支援取組率：9.9%

③外部機関・外部専門家等への相談等対応件数 8件

- 士業(会計士・税理士等) 1件
- 東京都商工会議所「東京都よろず支援拠点」 1件
- 東京都商工会議所「ビジネスサポートデスク」 1件
- 東京信用保証協会「企業サポート推進プロジェクト」 2件
- とうきょうビジネス創造連携プラットフォーム「ミラサポ」 3件

④経営改善支援等を目的とした融資商品取組実績累計

(平成16年3月～) 254件53,009百万円
(商品名:「リニューアル」・「キャピタルプラス」・「二世代」・「オーナー」等)

金融円滑化への取組み

大信は、地域金融機関・協同組織金融機関として、原点の基本的な業務に立ち返り、地域の中小企業・小規模事業者の皆さまやそこで生計を営む個人の方々との関係を深め、お力になっていくことが重要な使命であると考えております。そのため、お客さまからの資金需要のお申込みや貸付条件変更等のご相談はもちろん、お客さまとのコミュニケーションを大事にし、ニーズに合ったサービスの提供や問題解決のための支援を引き続き真摯かつ丁寧に対応してまいります。

■貸付条件の変更等の申し込み対応（平成21年12月4日～28年9月30日）

金額単位：百万円

		申し込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
債務者が中小企業者等の場合	件数	21,295	20,249	122	56	868
	金額	329,378	317,060	1,278	479	10,559
債務者が住宅資金借入者の場合	件数	737	700	2	2	33
	金額	14,965	14,320	13	30	601

相談窓口=お問い合わせ先

貸付条件の変更等に関する相談は、本店および最寄りの営業店の窓口でお受けしております。

金融円滑化専用フリーダイヤル ☎0120-020-838(受付時間:当館営業日の9:00～17:00)

社会貢献

一般財団法人 あすなる会

一般財団法人あすなる会に対して
54年間、物心両面にわたり支援



平成28年5月29日
第36回
「山中湖ロードレース」参加者



（財）あすなる会の活動は、英会話教室・茶道教室の他、祝成人・新年のつどい、あすなる祭等のイベント、さらに中小企業経営者を対象とした中小企業経営環境研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり行われています。大信では、このような（財）あすなる会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、同会事務所の提供、職員の派遣などの支援を継続しております。

これらの活動基盤は大信と大信全店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。

詳細は（財）あすなる会ホームページをご覧ください。

<http://www.asunarokai.org/>

地元にも密着した地域貢献活動

交通安全活動や祭礼などの地域行事への参加を通して、地域の活性化をお手伝いしました。



亀戸支店「交通安全活動への協力」



青山支店「青山熊野神社秋季例大祭」



浅草支店「三社祭」



吉祥寺支店「第44回吉祥寺秋まつり」



平成28年9月3日
創立54周年「あすなる祭」
アトラクション会場



平成28年1月16日
第52回「祝成人・新年のつどい」
での新成人の皆さん

「平成28年熊本地震」 復興応援企画

大信では、熊本地震で直接被害のあった熊本・大分県、観光面で被害がおよぶ宮崎・鹿児島県を含む九州4県の復興応援として、様々な取り組みを行っています。このコーナーでは、その取り組みをご紹介します。

「九州4県(熊本・大分・宮崎・鹿児島)のアンテナショップ・ラリー」 ～歩いて、買って、食べて、九州4県を応援しよう～を実施!

8月から10月末まで「九州4県のアンテナショップ・ラリー」～歩いて、買って、食べて、九州4県を応援しよう～を実施しました。お客さま向け情報誌「大東京びより」の特別号(8月発行)にて、都内にある4県5カ所のアンテナショップを紹介するとともに、“東京からできる応援”として、そのアンテナショップをお客さまや役職員に巡っていただき、買い物などをしたレシートを3県以上集めて店舗に持参いただくと、アンテナショップおすすめの小物をプレゼントするイベントです。



東日本大震災・熊本地震の 義援金募集の取り扱い

大信では、東日本大震災ならびに熊本地震の被災地域の皆さまの復興に少しでもお役に立てるよう、イメージキャラクター“大くん・心ちゃん”の募金箱を全店舗に設置し義援金募集を行っています。

引き続き皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

まだまだあります

九州復興支援



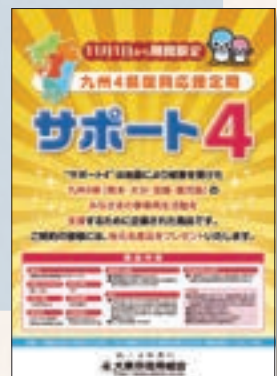
「大信九州復興支援旅行」の実施

湯布院温泉や阿蘇内牧温泉等を回り、熊本県・大分県の信組のお取引先に宿泊する旅行を企画し、募集いたしました。

12月に旅行を実施予定です。

復興応援定期預金サポート4

九州4県(熊本・大分・宮崎・鹿児島)の皆さまの復興を支援するために企画した商品で、ご契約いただいた皆さまには、九州4県の信組のお取引先から購入した地元名産品をプレゼントいたします。



..... お客様満足度向上への取組み



人にやさしい店舗へ 生まれ変わる大信の店舗

心ちゃんもお手伝い



建物の全容
5階建ての建物で、2階が営業
窓口となっています。



オープニングセレモニー



オープン当日の店内



銀座支店

移転
開店!

当組合は銀座支店に八丁堀支店を統
合し、平成28年10月11日に移転開店
いたしました。

2階に窓口を有する空中店舗ですが、
エレベーターをそなえ、
皆さまに安心してご来
店いただけます。

新築予定
の店舗

平成30年3月新築開店予定

吉祥寺支店

吉祥寺支店が装いも新たに、より明る
く近代的な5階建てのビルに生まれ変わら
れます。

新築開店後は地域の皆さまのお役に立
てるような施設にしていまいります。



大信ふれあい旅行 “月岡温泉「ホテル華鳳」”の旅が大好評

「大信ふれあい旅行」は、皆さまとの心のふれあうおつきあいを大切に年
1回実施しております。

今回は、平成28年4月11日（月）から22日（金）の期間に8班編成バス
34台で、全店舗から1,032名のお客さまの参加をいただき「プロが選ぶホテ
ル・旅館100選」で総合第2位の「ホテル華鳳」の豪華さとおもてなしの良
さを満足していただく企画といたしました。

宿泊先の「ホテル華鳳」では、大信のマスコット「大くん」のお出迎えに皆
さまは驚いたり、撫でたり、写真を撮ったりと大変喜んでいらっしゃいました。



都内にひろがる店舗・サービス網



大信の店舗は全日午後4時まで営業しています。

店舗一覧

(平成28年11月7日現在)

● 本部	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	☎03(3436)0111(代)	○ 日野支店	〒191-0011 日野市日野本町2-18-11	☎042(582)2121(代)
● 本店営業部	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	☎03(3436)0121(代)	○ 西八支店	〒193-0835 八王子市千人町2-3-18	☎042(661)6221(代)
○ 品川駅東口支店	〒108-0075 港区港南2-3-1	☎03(3474)8326(代)	○ 石川支店	〒192-0032 八王子市石川町522-4	☎042(646)3011(代)
○ 十条支店	〒114-0034 北区十条2-30-8(仮店舗)	☎03(3907)5111(代)	○ 青山支店	〒107-0061 港区北青山2-12-32	☎03(3401)0145(代)
○ 目黒支店	〒153-0064 目黒区下目黒6-18-25	☎03(3711)5656(代)	● 保谷支店	〒178-0064 練馬区南大泉4-55-5	☎03(3924)3311(代)
● 高円寺支店	〒166-0003 杉並区高円寺南4-45-4	☎03(3318)1111(代)	○ 立川支店	〒190-0011 立川市高松町2-11-24	☎042(524)6681(代)
○ 亀戸支店	〒136-0071 江東区亀戸1-27-9	☎03(3685)3351(代)	○ 堀ノ内支店	〒166-0013 杉並区堀ノ内3-3-15	☎03(3311)1141(代)
○ 蒲田支店	〒144-0052 大田区蒲田4-22-17	☎03(3732)3221(代)	● 三鷹支店	〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1	☎0422(48)2311(代)
○ 日暮里支店	〒116-0014 荒川区東日暮里5-11-5	☎03(3802)8181(代)	○ 東大和支店	〒207-0014 東大和市南街3-55-8	☎042(567)2011(代)
○ 新宿支店	〒160-0022 新宿区新宿5-1-1	☎03(3356)2151(代)	◎ 上北台出張所	〒207-0023 東大和市上北台2-892-3	☎042(562)1581(代)
○ 三軒茶屋支店	〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-14-10	☎03(3424)3181(代)	○ 荻窪支店	〒167-0043 杉並区上荻1-19-9	☎03(3391)1931(代)
○ 新小岩支店	〒124-0023 葛飾区東新小岩5-2-6	☎03(3691)9536(代)	● 富士見台支店	〒177-0034 練馬区富士見台2-18-5	☎03(3999)7163(代)
● 大塚支店	〒170-0004 豊島区北大塚1-34-12	☎03(3918)6411(代)	○ 浅草支店	〒111-0034 台東区雷門2-2-10	☎03(3842)2011(代)
○ 銀座支店	〒104-0061 中央区銀座2-12-9	☎03(3542)8051(代)	○ 三ノ輪支店	〒110-0011 台東区三ノ輪1-8-1	☎03(3876)2251(代)
○ 吉祥寺支店	〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1(三鷹支店内)	☎0422(22)9221(代)	○ 花畑支店	〒121-0061 足立区花畑4-37-16	☎03(3859)2111(代)
● 恵比寿支店	〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-7-8	☎03(3463)0561(代)	○ 足立支店	〒123-0845 足立区西新井本町4-8-16	☎03(3898)2111(代)
○ 常盤台支店	〒174-0063 板橋区前野町2-4-2	☎03(3969)2535(代)			
● 戸越支店	〒142-0041 品川区戸越2-6-1	☎03(3786)5121(代)			
○ 府中支店	〒183-0023 府中市宮町1-33-11	☎042(363)7511(代)			
○ 押上支店	〒130-0002 墨田区業平4-1-2	☎03(3625)5001(代)			
● 田町駅前支店	〒108-0014 港区芝5-16-2	☎03(3453)3201(代)			
● 荏原駅前支店	〒142-0053 品川区中延5-1-1	☎03(3786)8161(代)			
○ 福生支店	〒197-0011 福生市福生1004	☎042(553)0611(代)			
● 品川支店	〒140-0004 品川区南品川2-17-6	☎03(3474)1333(代)			
○ 西蒲田支店	〒146-0094 大田区東矢口3-20-5	☎03(3738)1106(代)			
○ 駒沢支店	〒154-0012 世田谷区駒沢3-22-1	☎03(3414)0151(代)			
○ 大井支店	〒140-0014 品川区大井1-23-7	☎03(3773)1536(代)			
○ 東大井出張所	〒140-0011 品川区東大井6-9-6	☎03(5493)1911(代)			
● 八王子営業部	〒192-0081 八王子市横山町24-1	☎042(642)0201(代)			
◎ 中野山王出張所	〒192-0042 八王子市中野山王3-5-9	☎042(626)4111(代)			

店舗外ATM(無人)

- 京浜蒲田出張所 〒144-0052 大田区蒲田4-5-7
- 十条銀座出張所 〒114-0031 北区十条仲原1-5-9
- 信用組合会館出張所 〒104-0061 中央区京橋1-9-1

ATMコーナー

平日は全店稼働しております。休日等の稼働については次のとおりになっております。

- 印店舗：土・日・祝日・年末日稼働
 - ◎ 印店舗：土・日・年末日稼働
 - 印店舗：土・年末日稼働
- 祝日稼働は、お正月の1月1日～3日とゴールデンウィークの5月3日～5日を含みます。

※十条支店は現在新築工事のため、仮店舗で営業しております。なお、電話番号は変更ありません。
 ※吉祥寺支店は現在新築工事のため、三鷹支店内仮店舗で営業しております。なお、電話番号は変更ありません。
 また、仮店舗営業中につきましては、店舗外ATMコーナー(武蔵野市吉祥寺本町4-9-15)を設置しておりますのでご利用ください。



大東京信用組合は皆さまの
ベストパートナー・バンクとして
地域社会とともに歩む金融機関です



お気軽にご相談ください

「お客様相談室」を設置してお客さまからのお問い合わせやご相談などに
真摯にお応えできるよう態勢整備に努めております

大信は、お取引の店舗窓口でご相談等をお受けするほか、本部にお客さまとのホットラインの役目を担う「お客様相談室」フリーダイヤル（一般のご相談：0120-402-003）（金融円滑化等ご相談窓口：0120-020-838）を設置して、お客さまからのお問い合わせやご相談などに真摯に対応できる態勢を整え、安心してお取引いただけるようお客さまとの信頼関係強化に努めております。

頼れる大信の
店舗はこちら！



大東京信用組合 本部

〒105-8610 東京都港区東新橋2-6-10

TEL 03(3436)0111(代表) <http://www.daisin.co.jp>